

ごみの分別徹底を

異物の混入は大事故につながる可能性があります



過日、裾野市から搬出されたプラスチック製容器包装を処理する施設で発煙事故が発生しました。原因は、ごみの中に混入していたリチウムイオン電池でした。幸い初期消火に成功し大事には至りませんでした。ひとつ間違えれば大事故につながりかねない危険性がありました。

事故を防ぐため、ごみの分別を徹底しましょう。

ごみ出しの注意点



プラスチック製容器包装として出せるのは、プラマークの表示があり、容器または包装で使用していたもので、次のものは出せません。

- 油などが付着して汚れの落ちにくいもの、中身の残ってしまうチューブ類 ※燃えるごみ
- バケツや歯ブラシ、おもちゃなど ※燃えるごみ（電池を使用している場合、電池は資源ごみ）
- 金属やガラスなど ※資源ごみか燃えないごみ

詳しくは、3月に各世帯に配布したごみの出し便利帳（改訂版）を参考にしてください。ごみの出し便利帳（改訂版）は、市公式ウェブサイトでもご覧になれます。

新サイズの指定ごみ袋 プラスチック製容器包装用袋

プラスチック製容器包装用の指定袋に45リットルのサイズ（写真右）を追加しました。市内取扱店舗で順次販売されます。指定袋のサイズは、30リットルと45リットルの2種類になります。



生活環境課 995-1816

裾野長泉新火葬施設整備工事は工程どおり進んでいます



裾野市長泉町衛生施設組合では、新火葬施設の整備を進めています。令和元年10月に着手した工事は、工程どおり進んでいます。

これまで、外構・造成工事、建物本体工事（基礎、1階床躯体）を行いました。

今後は、引き続き躯体工事を進め、11月頃から内外装仕上げ工事、令和3年1月から火葬炉などの設備機器設置工事を行い、建物本体工事は令和3年4月中に完成する予定です。その後、舗装工事や植栽工事を行い、令和3年夏ごろに運営を開始する予定です。全面供用開始は、現斎場解体後になります。

工事中は、現斎場の出入口や駐車場の位置などが変更になります。ご利用の皆さんにはご理解とご協力をお願いします。

詳しい進捗状況は、市公式ウェブサイトをご覧ください。



建物概要

火葬炉数／人体炉4炉、将来増設1炉（予定）

計画諸室／告別室2室、収骨室2室、待合室5室、多目的室1室（会議室としての利用や直葬など最期のお別れの場として使用）、待合ホール、キッズルームなど

生活環境課 995-1816